



チョークでオリジナルアート

多文化交流ひろば

10月14日、市立市民会館で寝屋川市国際交流協会主催の「多文化交流ひろば みんなでチョークアート体験」が開かれました。15cm四方の板にカラフルなチョークを使ってイラストを描き、オリジナルのウェルカムボードを制作。指でぼかしてグラデーションを作り、多彩な色を作り出すなど、チョークアートの奥深さに参加者は熱中していました。



寝屋川市駅前 キラキラと

今年もイルミネーションが始まりました

10月16日から寝屋川市駅前東側ロータリーのイルミネーションが始まりました。今年はデザインや期間、エリアがパワーアップしています。主催者は「コロナ禍で疲れた人たちに少しでも笑顔になってほしい」と話しています。令和3年1月11日（祝）までの毎日、午後5時30分～午前0時まで点灯しています。ぜひ見に来てください。



季節外れの花咲く

鉢植えのフジ

成田東町の民家で、鉢植えのフジが季節外れの花を咲かせました。

玄関前で育てた3株のうちの1株。高さ1mほどのフジが8月に花芽を付け、9月中旬に淡い紫色の花が咲きました。花の数は少なかったものの、4月に続いた二度咲き、に、川寄時彦（かわさきときひこ）さん（75歳）は「育てて10年になります、初めてのことです」と驚いています。



江戸時代の礫石経見つかる

長栄寺の石塔から

長栄寺の境内にある石塔から、梵字が墨書きされている石がたくさん見つかりました。小石に経典などを書き写して、埋納することが盛んに行われたのは江戸時代の頃からとされています。

<展 示>11月4日～29日・市立埋蔵文化財資料館
※11月13日（金）午後1時30分、エスポアールで講座を開催。



江崎グリコと連携協定締結

府内初のCo育てPROJECT

9月24日、妊娠期からの子育て支援を推進するため、江崎グリコ株式会社と連携協定を締結しました。

同社が展開する「Co育てPROJECT」を活用し、夫婦が子育てに対して具体的にイメージできるようにオンライン講座などを行い、初めて出産・子育てをする夫婦を支援します。



コロナ禍の避難所見学会実施

体育館にたくさんのテント

9月19日、市立中央小学校で新型コロナウイルス感染症防止策を講じた避難所見学会を開催しました。見学会には、地域住民など129人が参加しました。

発災時の避難所でのクラスター発生や感染拡大を防止するため、受付での検温や消毒を実施するとともに、体育館や特別教室へテントを設置し、特別教室には体調不良者や妊産婦のための部屋を設けました。



バッタの運動会に歓声

深北緑地でかんざつ会

「昆虫のかんざつ会」が深北緑地公園で開かれ、飛んだ距離を競う「バッタの運動会」が行われました。

小学生の親子25人が参加。会員からイナゴなどバッタの仲間の見分け方を学んだ子どもたちは早速捕虫網を持ち、草むらなどを探していました。この後、三脚で作った発射台から捕まえたバッタを次々と飛ばし、35mを記録したトノサマバッタが優勝しました。



真っ赤な実のカラスウリ

秋の淀川河川敷を彩る

「まっかだな♪まっかだな♪」。童謡の歌詞でおなじみのカラスウリが、秋も深まった淀川の河川敷で赤い実を付けています。

樹木などに絡んだツルから垂れ下がった実は長さ6cmほどの楕円形で、中に20～30個の種が入っています。その形が大黒様や打ち出の小槌に似ていることから、財布の中に入れてお金がたまるという縁起物。真っ赤な実は11月頃まで見ることができるそうです。